



瓊浦高等学校
学校通信
第 66 号

平成30年2月28日発行
電話 095-826-1261
FAX 095-820-5245

瓊浦の窓

「お宝発見!!」

主幹 中村 淳

例年よりも冷たい北風が吹き荒れた冬もようやく終わりを告げようとしています。梅の花が咲き始め、次第に日差しも心地よく感じられるようになりました。ほんの数週間前まで中庭にたたずむ「笑う少女像」の頭上に雪の帽子が戴っていた事がウソのようです。

毎日、何気なく見ているこの像は何？と思っている方も多いのではないのでしょうか。作者は、現在の南島原市出身で「平和祈念像」の作者である北村西望(1884～1987)氏です。昭和33年に文化勲章を受章し、104歳まで現役を貫いた日本を代表する彫刻家です。この像は和服姿で口に手を当て、嬉しくて仕方ないような満面の笑みの姿をしています。西望氏の作品は、平和祈念像をはじめとして、市民会館や諫早陸上競技場に設置されていますが、その多くがたくましく、躍動感あふれるものばかりです。「笑う少女像」の愛くるしい表情はかなり特異な作品に思われます。何故本校に設置されているのでしょうか。

この他にも校内には西望氏の作品があります。事務室の階段前に額装された書は「以和為貴」(わをもってとうとしとなす)。この原文はご存じの方も多いと思いますが、聖徳太子の「十七条憲法」の冒頭にあるとても有名な名文です。「人々がお互いに仲良く調和していくことが最も大事なことである。」という意味でしょうか。この書も彫刻と同じように、骨太でたくましい作品です。

この書は校訓の「誠実・和・勤勉」の原点と考えて良いのではないのでしょうか。そして少女像の笑顔。この笑顔にも「和」の思いが込められているように思えてなりません。今度作品をじっくり見てみませんか？瓊浦にはお宝がいっぱいです。

3月1日は卒業証書授与式です。この日受け取る卒業証書はここ十数年、本校出身の先輩に書いていただいています。約2ヶ月かけて一文字、一文字ていねいに、心を込めて書いていただいています。その先輩は瓊浦が高等女学校時代の卒業生です。「今年も書かせていただいております。」というお言葉の中に「家族」のような、変わらぬ瓊浦への想いを強く感じました。

機械科工場見学 ～県内企業を訪問

2月5日(月)、機械科の1年生で企業見学へ出かけました。全体が3つのコースに分かれ、それぞれ2～3社の企業にお世話になりました。見学では、技術者の方から実演も交えながらお話を伺うことができ、普段の実習で扱っている機械が実際の現場ではどのように使われているのかがよくわかりました。また、初めて見る機械もあり、生徒たちは興味津々で見入っていました。学校に帰ってからは、見学に行った企業の求人票を求めて就職指導室へ足を運ぶ生徒も現れ、1年半後の進路決定に向けて、大いに意義のある見学会となりました。



長崎菜の花忌で朗読

2月12日(月)風頭公園にて開催された故司馬遼太郎を忍ぶ「長崎菜の花忌」に、本校演劇部6名が参加し、『坂の上の雲』を朗読しました。この朗読には7年前から参加しており、主催者の方からは大変感謝されています。途中、雪が降り大変寒いなか、多くの司馬遼太郎ファンが来るなど大いに盛り上がりました。メディアの取材もたくさんありましたので、ニュース・新聞等にご注目ください。



《主な行事》 3月

- | | |
|--------|---------------------------|
| 1日(木) | 卒業証書授与式 |
| 4日(日) | 危険物取扱者試験 |
| 5日(月) | AED学習(1年) |
| 6日(火) | 写真撮影(～7日)
進路ガイダンス(2年) |
| 9日(金) | 強歩大会 |
| 13日(火) | 教科書販売
陶芸研修(機械科1・2年) |
| 14日(水) | 美術鑑賞(普通科2年
・情報ビジネス科1年) |
| 15日(木) | 自宅学習 |
| 16日(金) | 終業式・離任式 |
| 19日(月) | 追試・補講開始 |
| 21日(水) | 学級編制試験・制服採寸
(新1年) |
| 31日(土) | 学用品販売 |



校内溶接競技会

第41回校内溶接競技会が、12月14日(木)機械科実習校舎において行なわれました。

本大会は、機械科3年生が対象で、各クラスから4名が選抜され、計16名で競われます。今大会も、3年間の溶接実習で身につけてきた技術をそれぞれが発揮して、僅差の勝負が繰り広げられ、レベルの高い素晴らしい大会となりました。



○団体 **優勝** 機械科3年C組
準優勝 龍馬コース機械科3年A組

○個人 被覆アーク溶接の部 **優勝** 平下 颯 (機3B)
準優勝 宮崎 紹平 (機3C)
炭酸ガス半自動溶接の部 **優勝** 志水 富樹 (機3C)
準優勝 副島 佑太 (龍機3A)

第51回長崎県高等学校発明創意工夫コンクール

秋山 豊 (機2D)	「倒れても中がこぼれないゴミ箱」	優良賞
伊藤 武人 (機3B)	「多機能黒板消し」	奨励賞
山道 勝太 (機2A)	「平行線が引ける定規」	奨励賞
中村 颯 (機2C)	「ささなくても円がかかるコンパス」	奨励賞
草野 尚生 (機2D)	「一気に黒板消し」	奨励賞
池本 勇輝 (機1A)	「ラクラク!黒板消し!」	奨励賞
鳶井 由美 (機1A)	「ころがすキャスター」	奨励賞
鈴木 拓海 (機1A)	「New Desk」	奨励賞
西田 祥太郎 (機1A)	「スマート」	奨励賞
根本 暖 (機1B)	「見えるんデス!」	奨励賞

修学旅行

2月5日(月)～9日(金)にかけて、第2学年の修学旅行が実施されました。1日目は飛行機で東京へ飛び、そこからバスで福島県の猪苗代へ移動します。2日目・3日目はスキー・スノーボード研修。最初こそ苦戦していましたが、あっという間に上達し、翌日にはリフトに乗り、急な斜面も滑り降りる生徒も見られました。また、夕食後には学びの時間が設けられました。2日目は、ホテルの調理担当の方・スキーインストラクター・旅行会社の方にそれぞれ講演いただく職業講話、3日目は震災学習として、ホテルの方に東日本大震災の体験をお話いただきました。生徒たちはしっかりとした態度で聞き、震災について理解を深めました。4日目午前中には東京へ移動し、午後は自主研修として、班ごとに都内を回りました。中には反対方向の電車に乗り、帰着時間に間に合わない班もありましたが、ちょっとしたトラブルも含めて皆よい経験を積んだようです。最終日のディズニーランドでは、短い時間でしたが、キャラクターの被り物をするなど、夢の国を満喫していました。生徒一人ひとりが大いに学び、楽しみ、大変有意義な修学旅行でした。



卒業証書授与式 表彰者一覧



- 瓊浦学園賞 海貝 野々花 (龍普3A)
- 校長賞 (証書総代) 山本 竜輔 (龍普3A)
柿平 亜美 (情3A)
緒方 航 (龍機3A)
- 答辞 (校長賞) 島谷 景介 (龍機3A)
- 私学賞 吉村 淳樹 (龍機3A)
- 長崎県教育委員会表彰 御厨 湊人 (普3D)
- 産業教育振興中央会賞 森 茉緒 (情3A)
内野 栄 (機3B)
- 商業教育成績優秀者表彰 北 愛実 (情3A)
- 県高体連表彰 村本 竜馬 (普3C)
- 高体連卒業者顕彰 尾崎 聖 (龍普3B)
- 高文連卒業生顕彰 錦織 晴朝 (龍普3B)
- 全国高校生新聞表彰 男子水泳部
- 特別奨励賞 西田 祐一朗 (龍普3B)
高橋 亜優 (普3C)
- 特別功労賞 (団体の部) バドミントン部男子
- 特別功労賞 (個人の部) 林田 洋翔 (情1A)
- 体育・文化功労賞 (団体の部) バドミントン部男子
ハンドボール部男子
- 記念品贈呈 山本 源太 (機3D)
- 瓊浦高等学校同窓会 記念品受領 中谷 航暉 (機3C)
- 全国商業高等学校協会 3種目以上1級合格者表彰
3種目合格者 市原 冬弥 北 愛実
(以上情3A)
- ジュニアマイスター・ゴールド 緒方 航 釘尾 匠
山口 竜世 吉村 淳樹
(以上龍機3A)
- ジュニアマイスター・シルバー 副島 廉 (龍機3A)
- ビジネスマイスター長崎 シルバー 市原 冬弥 松井 璃来
三浦 祐輔 柿平 亜美
北 愛実 松尾 愛香
南 裕菜 森 茉緒
(以上情3A)
- ブロンズ 千代田 頼愛 藤瀬 健太郎
見陣 翔 石田 優梨
岩崎 莉奈 尾崎 美咲
木下 紗希 草場 優見
古賀 凜華 柴崎 真帆
山井 杏夏
(以上情3A)
- 3ヶ年皆勤賞 総代 道脇 怜 (普3D)
- 1ヵ年皆勤賞 総代 小林 留生 (機3B)